



聖詠の作者
聖王ダヴィド

「主よ、我に我が^{おわり}終と我が日の数の幾何^{いくばく}なるとを告げて、我に我が代^{いかな}の如何を知らしめよ。視よ、爾我に日を昇^あへしこと指尺^{ゆびじゃく}の如く、我が代は爾の前に有るなきが如し。誠に凡そ生ける人は全く虚し。誠に人は行くこと幻^{いたづら}の如く、彼徒^{いそがわしき}に煩劇^{たくわ}をなし、貯えて誰に獲らるるを知らず。主よ、今我何をか^ま俟たん、我が望は爾に在り。」

(第三十八聖詠)



仙台正教会 教会だより

2026年 6月号

仙台ハリストス正教会

〒980-0021 仙台市青葉区中央三丁目四一-二〇
TEL(022)225-1274
FAX(022)224-3080
http://www.sendai-orthodox.jp
orthodox@hyper.ocn.ne.jp

死を憶えることは永遠の命を想うこと

司祭 ルカ 田畑隆平

「メント・モリ(memento mori)」という言葉があります。よく知られた言葉なのでご存知の方も多いと思いますが、これはラテン語で「死を憶えよ」を意味する言葉で、古代ローマ時代のある伝統に由来すると言われています。

当時、戦に勝利した將軍がその凱旋パレードで群衆から称賛を受けている間、彼の戦車に一人の奴隷が同乗し、彼のすぐ後ろに立って、耳元でこのように囁き続けていたそうです。「後ろを振り返れ。汝は死すべき人間であることを忘れるな。死を忘れるな(memento mori)」。そして聖書にも、「死を憶える」ことを求める祈りがあり、それは例えばこのようなものです。

「主よ、わが終りと、／わが日の数のどれほどであるかをわたしに知らせ、／わが命のいかにほかないかを知らせてください。」
(第38聖詠／詩編39篇)

「死を憶える」ということ自体は、信仰とは関係ありません。神を信じずとも、死を憶えることにより、時間を無駄にせず、優先順位を明確にし、本質的に生きる助けとなります。しかし信仰者にとって「死を憶える」ことの意義は、それだけに留まりません。私たちが死を憶えるとき、神の裁きを考えます。そして永遠の命を考えます。つまり私たちにとって「死を憶える」とは、永遠の命のうちに今を生きることにほかなりません。ですから罪に陥りそうな時は、死を憶え、永遠の命を想いましょう。

聖パウエルはこのように言っています。
「私自身は、すでにいけにえとして献げられており、世を去るべき時が来ています。私は、闘いを立派に闘い抜き、走るべき道のりを走り終え、信仰を守り通しました。今や、義の冠が私を待っているばかりです。」(ティモフェイ後4:6-8)

パスハのサイクルの祈祷書

正教会の奉神礼のサイクルを形成する祈祷書は、大きく分類すると二つに分けられます。それは、①一日の奉神礼を形作る物『時課経』『奉事経』と、それらの祈祷を實踐する上で、②日毎に変わる部分が記載された物の2種類です。そしてこの②は、(1)日付に基づく『月課経』(日本では『祭日経』という抄訳版のみ翻訳されている)と、(2)毎年日付の変わる聖大パスハに基づく『歌経』と『八調経』に分けられ、また『歌経』も『三歌斎経』と『三歌花経(五旬経)』に分けられます。

今月はちょうど『五旬経』が終わり『八調経』をメインに使い始める時期に当たりますので、これらのパスハに基づく祈祷書『五旬経』『八調経』『三歌斎経』について、掻い摘んでご説明いたします。

『五旬経』(ペンテイコスタリオン) この祈祷書の『五旬経』という名前は、「聖大パスハ」から「五旬祭(ペンテコステ)」までの日数である「50日間」に因ん

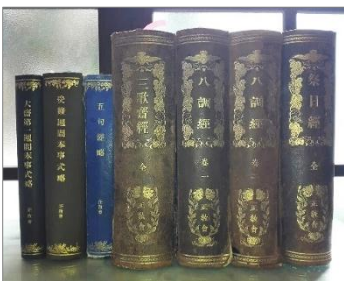
でいます。そしてその名の示す通り、元々この祈祷書には「聖大パスハ」から「五旬祭」までの祈祷が載っていました。しかし後になって「五旬祭」翌週の「五旬祭後第一/衆聖人の主日」が追加され、現在の『五旬経』には「聖大パスハ」から「衆聖人の主日」までの8週間+1日、すなわち9主日分が記載されています。

『五旬経』に「衆聖人の主日」まで記載されるようになった理由として考えられるのは、「五旬祭」はその週の土曜日まで続くこと、「衆聖人の主日」は「パスハ」に伴って移動すること、そして「パスハ」から8週間後の「衆聖人の主日」(8調)でちょうど調が1調から8調まで一巡することなどです。(ただし、「パスハ」から7週間後の「五旬祭主日」は7調を基調としていませんし、パスハからの1週間、すなわち「光明週間」はその1週間で1日と見做され、調は日曜1調、月曜2調、火曜3調、水曜4調、木曜5調、金曜6調、土曜8調となります。)

とは言え、『五旬経』の期間は特別ですから、様々な調がその週の調に組み合わせられながら、徐々に通常の『八調経』のサイクルへと向かっていくように作られており、最後の「衆聖人の主日」になると、その日の調はほぼ8調のみとなります。

ちなみに正教会では「パスハ」は伝統的に洗礼のシーズンとされていますが、正教会で最も大きな祭である「聖大パスハ」と、二番目に大きな祭と言われる「五旬祭」、そしてその橋渡しとなる「升天祭」という正教信仰の核となる3つの祭日があり、この期間の祈祷を通して、パスハに洗礼を受けた新光照者はキリスト教の機密・奥義を学ぶとされています。

なお、日本では『五旬経』は未だ『五旬経略』という抄訳版しか翻訳されていません。



『八調経』（オクトイホ）

『五旬経』のシーズンが終わると、今度は一年の通常の期間である『八調経』のシーズンが始まります（「衆聖人の主日」翌日の月曜から）。『八調経』は8週間のサイクルという長いスパンで私たちの霊を養い、復活の生命に在る生活を体得させ、正教徒としての成熟を促します。

教会で普段使われている聖体礼儀や徹夜禱の楽譜は、基本的にこの『八調経』に基づいて祈禱文や歌がセレクトされています。ですから通常の『八調経』のシーズンはこれらの聖歌譜のみを使っていけば間違わない（ただし、省略はされている）のですが、祭日と重なったり、『五旬経』や『三歌斎経』のシーズンになると、祈禱文が変わるのでそのままでは使えなくなります。

『三歌斎経』（トリオディ）

大斎の祈禱書として知られる『三歌斎経』ですが、この祈禱書には大斎準備週間の「税吏及びファリセイの主日」から、「聖大パスハ」前日の「聖大スポタ」までの

祈禱が収められています。

『三歌斎経』を使い始める大斎準備週間は未だ『三歌斎経』がメインではなく、主に『八調経』を使いながら日曜などに『三歌斎経』を用いつつ、少しずつ『三歌斎経』の割合が増えていき、大斎を迎えてメインが『三歌斎経』に切り替わるという具合です。

ちなみに『三歌斎経』の「三歌」とは、大斎平日の早課ではカノンが三つの歌頌しか歌われないことから来ています（大斎第4週間の水・金曜を除く）。

なお、大斎初週の祈禱書として『大斎第一週間奉事式略』というものがありますが、例えばこの祈禱書では月曜早課の光耀歌は「1調」になっているのに対し、『三歌斎経』では本調（Ⅱその週の調）となっており注意が必要です（海外の『三歌斎経』は「その週の調」）。また、同じく月曜早課の「聖三者讃詞」も『第一週間略』では1調になっていますが（これは『三歌斎経』も同じ）、筆者の調べる限り海外の教会では「その週の調」です。つまり大斎になったからと言って1調に戻るのでは

なく、「受難週間」に至るまでは基本の調は前の「パスハ」に準拠し、新たに8調のサイクルが始まるのは「聖使徒フォマの主日」からとなります。

不禁食週間と斎と祈禱書

今年は6月8日から「聖使徒の斎」が始まります。この斎は「聖使徒ペトル・パウエル祭」（7月12日）まで続きますが、6月8日は「衆聖人の主日」の翌日、すなわち『五旬経』を使い終わった翌日であり、『八調経』シーズンの初日です。すなわち『八調経』という通常のシーズンは斎から始まります。ちなみに『五旬経』は不禁食週間（「聖大パスハ」～「フォマの主日」）に始まり、不禁食週間（「五旬祭」～「衆聖人の主日」）に終わります。そして大斎の祈禱書である『三歌斎経』も、実は不禁食週間から始まります（「税吏及びファリセイ」～「蕩子」まで）。

このように、斎や不禁食週間というのは各祈禱書の始まりや終わりやリンクしていることが多く、正教の生活がいかに奉神礼と結びついているかが解ります。

東北ブロック拡大宣教会議

5月14日(木)午後1時より、東北ブロックの拡大宣教会議が仙台教会にて開かれました。この会議は、ブロックの宣教委員と各教会の執事長が一堂に会し、ブロックの活動や各教会の現状について共有し理解を深めるもので、仙台管轄区からは司祭と宣教委員のウエラ山中姉、中新田教会のセルギイ渡邊執事長、白河教会のイオアン大寺執事長が出席しました。



中新田正教会だより

中新田教会では4月24日(金)と25日(土)に司祭の巡回があり、復活大祭をお祝いしました。

まず24日の午前9時に聖堂で紅卵の成聖をし、それから渡邊執事長の車で各墓地の墓地祈祷へ赴きました。途中、普段は教会に來られない信徒のお宅に何軒か寄り、卵とお菓子を届け、主の復活大祭の喜びを分かち合いました。そして夕方教会へ戻り17時より十字行と早課。早課の後には祝賀会が行われました。祝賀会では恒例(になりつつある)のビンゴを楽しみました。



25日は朝から復活大祭の聖体礼儀をお祝いした後、午後からは再び墓地祈祷へ。午後5時過ぎまで掛けて全てのお墓を廻り、丸二日に亘る中新田教会の復活大祭を終えました。



白河正教会だより

白河教会では5月2日(土)から3日(日)にかけて司祭の巡回がありました。この日は「癱者の主日」でしたが、変更箇所を予習して下さっていたお陰で、徹夜祷も聖体礼儀も『五旬経』の指定通りに滞りなく祈祷することが出来ました。

また、日曜の昼食後には、洗礼を希望しておられる青年を中心に勉強会を行いました。「正教会は神をどのように理解しているのか」という神学的で込み入った内容ではありましたが、よく理解していたのだと思います。

献金報告 (4.30~5.19)

○聖堂内献金

○復活大祭献金

山野辺隆二

大立目謙直、太田 信、八文字則子

門間純子、遊佐珠子、横山美貴子

八賀みち

○聖名祭感謝献金

木村浩大

昆守(ひろ子)

○パニヒダ献金

永沢正輝、太田ちえ子、高橋ゆり

橘 聡子、山田喜美雄、本多弘明

山中由美、木村史之、佐治美智子

岡崎文子、高橋紀武、岡崎雄俊

○墓地祈祷献金

本多弘子、大立目謙直、丹野美紀

山田喜美雄、西海枝康子、平塚裕

岡崎たい子、永元道子、大立目

潤子、木村良治

本多弘明、水口敦子、遊佐なみ子、

高橋紀武

○埋葬献金

太田 秀(太田 信)

石森知子(高橋英俊)

○迴家祈祷献金

昆守

高橋秋子

○会報献金

中新田教会

白河教会

※敬称略

主教祈祷のご案内

東日本主教教区の教区会議が6月14日(日)に仙台教会にて開催されます。それに伴い、セラフィム府主教座下と当教区の全司祭が来仙され、主教祈祷による聖体礼儀が献じられます。ぜひご参拝ください。

日時:6月14日(日)9時30分

※痛悔機密 9時

場所:仙台ハリストス正教会

婦人会総会のご案内

仙台ハリストス正教会 女性信徒 各位

6月28日(日)の祈祷後に、婦人会総会を開催いたします。ぜひお集まりいただき、活動内容等ご意見がございましたらお聞かせください。

お弁当を用意いたしますので、ご出席くださる方は6月21日までに婦人会役員にお伝えいただくか、聖堂入口にある申込用紙にお名前をご記入ください。

婦人会長 ウェラ山中由美

消 息

永眠

四月三〇日【仙台教会】

レオ 太田 信 兄 (102歳)

五月八日【仙台教会】

ペートル 高橋 英俊 兄 (92歳)

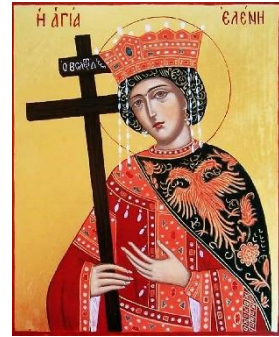
永遠の記憶をお祈りいたします。

6月聖名日
モレーベンのご案内
6月28日(日)聖体礼儀後

6月の聖名日モレーベンに該当する方々です。ぜひご参拝ください。



▲ローマの致命者
哲学者聖イウスチン



▲聖太后亜使徒エレナ

聖名日	聖名	氏名(敬称略)
6/3	エレナ(聖太后亜使徒)	小板橋由美子、高橋ゆり、笹川純子、菅原佐智子、瀬戸まみ、高橋優子、永沢京子、太宰美奈子、増田家次子、遊佐せつ子、吉田シヅ、佐藤あす見、宇田英美香、内海寿美、本間茂子、
6/11	フェオドシヤ(コンスタンチノープルの聖致命女)	伊藤秋恵
6/14	イウスチン(ローマの聖致命者)	大槻侑杜
6/16	パウラ(聖致命処女)	後藤清江
6/17	マルファ(バタニヤのラザリの兄妹)	居川めぐみ、小野泰子、小原淑子、永元亜紀子、早坂久美子、山田弘子
6/19	スサンナ(克肖致命処女)	平塚 恵
6/20	ルキナ(ローマの聖致命女)	岡崎瑠美
6/23	アントニナ(コンスタンチノープルの聖致命女)	渡辺久未子
6/26	アキリナ(シリアの聖致命女)	佐々木範子、佐藤由枝、菅原和子、山田樹里
6/27	エリセイ(聖預言者)	太田 格

日に記憶されます。

事は「十字架挙栄祭」(9月27日)という祭

に記憶されます。また、彼女は320年頃にハリストスが磔にされた十字架と釘を発見しました(そのため、彼女は十字架を持った姿でイコンに書かれます)。この出来

事に尽くしました。313年頃にキリスト教徒となった聖エレナは、私財を投じて貧しい人を助けたり、聖堂を建てるなどして教会に尽くしました。

ローマ帝国の皇帝コンスタンティヌス1世(亜使徒聖大帝コンスタンティン)の母が聖エレナです。

聖太后亜使徒エレナと十字架挙栄祭

執事会報告

日時：令和8年5月12日午後2時～4時
場所：会館3階会議室

一、報告事項

- ・4/14(火) 執事会
- ・4/15(水) 警察定期巡回、伝道会
- ・4/18(土) 光明週間スポタ聖体礼儀、アルトスの截分、徹夜禱なし
- ・4/19(日) 聖使徒フォオマの主日代式祈禱
- ・4/21(火) 大パニヒダ、墓地祈禱
- ・4/22(水) 墓地祈禱
- ・4/26(日) 携香女の主日聖体礼儀、聖名祭
- ・4/27(月) レオ太田兄臨終規定
- ・4/28(火) フォーバル定期点検
- ・4/29(水) 廻家祈禱
- ・4/30(木) 教会車一年点検、タイヤ交換、レオ太田兄永眠
- ・5/2(土) 徹夜禱無し
- ・5/3(日) 癱者の主日代式祈禱、ランパー
ドグラス洗浄、レオ太田兄通夜
- ・5/4(月) レオ太田兄埋葬式
- ・5/8(金) ペトル高橋英俊兄永眠(臨終規定、リテイヤ)
- ・5/9(土) ペトル高橋兄納棺、徹夜禱

二、協議事項

- ・5/10(日) サマリヤ婦の主日聖体礼儀、月例パニヒダ、ペトル高橋兄通夜
 - ・5/11(月) ペトル高橋兄埋葬式
 - ・一般会計 教区分担金完納
- (1) シャンデリアリニューアルの件
簡易足場のみで約11万円であるのに対し、[EED]の全球交換を足しても計17万である為、全球交換で発注する。
- (2) 門扉の件
平塚兄が修繕の見積もりを取ったところ、部分修理ではなく新調を140万で提示された。高額である為、別の方法を検討する(以前のように、ポールとチェーンにする等)。
- ※執事会後に、執事有志が門扉の故障箇所に既存のポールを挟み縛ったところ、一応門扉は使用可能となった。
※平塚兄が別の業者を探し、5/15に故障箇所確認作業、取り換えではなく修繕での見積もりを依頼。
- (3) 教区会議の件
受付に3名必要。
・聖使徒の齋中であるが、遠方からも参加者があることから、弁当は齋を考慮しない。

- ・理事会は15時開始の為、会場設営は13時より木村兄と司祭で行う。
- ・代議員は執事会を通さず司祭が指名する。
- (4) 信徒総会の件
・会場設営は当日の朝9時より方舟会が行う。
- ・総会役員は執事会を通さず司祭が指名する。
- ・監査は次回の執事会で決算書等が確認された後に行う。

三、その他

- (1) 全国公会代議員の件
・執事会を通さず司祭が指名する。
- (2) 聖体礼儀後の会館開放の件
・現在、毎週のように末信徒や他教派信徒の参拝があるが、彼等に教会に親しんでもらう為、聖体礼儀後に会館を開放し、交流できるようにしてはどうかとの提案が司祭よりなされた(今は毎週残っている聖歌隊が受け皿となっているが、より気軽に招くため)。現状では難しいが、聖歌隊の協力を得ながら、無理のない範囲で進めたいと結論した。今後、もし昼食を用意するのであれば、イベントが必要。

公 示

信徒総会開催について

宗教学法人「仙台ハリストス正教会」規則第二十三条により、令和八年度信徒総会を左記の通り開催します。

記

日時 令和八年六月二一日(日)

祈祷後(13時頃より)

場所 仙台正教会会館 4階ホール

議題 一、宗務に関する件

二、財務に関する件

三、その他

以上

教役者、信徒各位

令和八年五月二一日

宗教学法人 仙台ハリストス正教会

代表役員

司祭 ルカ田畑隆平

6月の行事・奉事予定

○仙台教会

6日(土) 徹夜祷はありません 第8調

7日(日) 衆聖人の主日代式祈祷(10時半)

エウレイ 330端 11:33-12:2

マトフェイ 38端 10:32-33、37-38、

19:27-30

◆聖堂清掃(会館4階窓拭き含む)

☆聖使徒の斎(6月8日~7月11日)

9日(火) 定例執事会(14時)

13日(土) 教区理事会(15時)

主日徹夜祷(17時) 第1調

14日(日) 衆聖人後の主日聖体礼儀(9時半)

ロマ81半端 2:10-16

マトフェイ9端 4:18-23

教区会議(13時)

20日(土) 主日徹夜祷(17時) 第2調

21日(日) 五旬節第3主日聖体礼儀(10時)

ロマ88端 5:1-10

マトフェイ18端 6:22-33

■月例パニヒダ

◆信徒総会(13時頃より)

27日(土) 主日徹夜祷(17時) 第3調

28日(日) 五旬節第4主日聖体礼儀(10時)

ロマ93端 6:18-23

マトフェイ25端 8:5-13

◎聖名祭モレーベン

▽婦人会総会

【聖歌隊】(発声)7日(日)(13時半)

【伝道会】3日(水)、10日(水)、17日(水)、24日(水)

○白河教会

5日(金) 教会清掃(9時30分)

6日(土) スポタ大晩課(17時30分)

執事会(晩課後)

7日(日) 洗礼(8時半)

衆聖人の主日聖体礼儀(10時)

信徒総会

21日(日) 五旬節第3主日代式祈祷(10時)

○中新田教会

7日(日) 主日代式祈祷、奉仕作業(10時)

26日(金) 執事会(16時)

スポタ大晩課(17時)

27日(土) 五旬節第4主日聖体礼儀(10時)

信徒総会